

件名： JHIF 通信 Vol.19 JHIF 第 3 回会議【プログラム案内】

【JHIF通信】水素エネルギー産業創出へのネットワークマガジン

Vol.19 2006/4/3

<http://www.ueri.co.jp/jhif/index.html>

-目次-

JHIF第3回会議(申込み受付開始)

JHIF会員限定 原子力水素研究会・原子力高度利用研究会開催

JHIF通信について

お問い合わせ窓口

JHIF第3回会議(申込み受付開始)

日米の水素エネルギー開発の展望

JHIF第3回会議のプログラムについてご案内いたします。

共催：東京大学21世紀COE「機械システム・イノベーション」、

ホロニック・エネルギーシステム学寄附講座

(予定ですので変更の可能性があります)

日時 2006年5月12日(金) 13:30-17:30

場所 東京大学 武田先端知ビル5階 武田ホール

(文京区本郷7-3-1)

プログラム

・開会あいさつ

笠木 伸英氏(東京大学21世紀COE 拠点リーダー)

・基調講演1

平田 賢会長(芝浦工業大学学長)

「地球温暖化抑止を目指して」

・基調講演2

堤 敦司 氏(東京大学大学院工学系研究科 助教授)

「水素エネルギー社会の構築に向けて

- エネルギーキャリアとしての水素の本質的役割 -」

・特別講演

ジェフリー・A・ミラー氏(米国エネルギー省日本代表)

「米国大統領の一般教書演説にみる米国の水素政策と戦略」(仮題)

・第3回ブレインストーミング会議

株式会社NTTファシリティーズ 研究開発本部 パワーシステム部門

主任研究員 角田二郎氏

他

「愛・地球博 新エネルギー実証試験 その後」

・閉会あいさつ

浅野 浩志 氏(東京大学ホロニック・エネルギーシステム学講座)

## 概要

本年1月末に行われた米国大統領の一般教書演説でも大きく取り上げられた米国のエネルギー戦略、中でも中核となるのが水素政策です。米国にとって水素戦略は「脱」中東政策の要であり、国のエネルギーセキュリティの観点からの議論が中心であり、必ずしも環境という観点だけでもないようです。また、水素と同様にエタノール燃料の推進という大きな旗印を掲げており、「エネルギー媒体」としての水素・エタノールの実用化に向けて大きく一歩を踏み出した観があります。今回は、我が国のエネルギー産業界や政策にも大きな影響を及ぼし得る米国の脱石油政策、とりわけ今回発表された水素・エタノール政策の背景や今後の展望を米国エネルギー省日本代表にお話頂く予定です。

また、愛知万博で行われてきた新エネルギー等地域集中実証研究は常滑市への移設の後、「あいち臨空新エネルギー研究発電所」(仮称)としてさらなる活用が計画されていますが、その後実験計画をはじめ、地域社会の中での活用戦略について、プロジェクトのご紹介をして頂く予定です。

今回は、東京大学21世紀COE及びホロニック・エネルギーシステム学寄附講座と共催・実施いたしますが、東京大学堤敦司先生に我が国における分散型エネルギーシステムにおけるエネルギー媒体・水素の利用といった位置づけについても多面的視野からご講演頂く予定です。

## 参加費

会員団体 3名様まで無料

非会員団体 おひとり30,000円(税込み)(銀行振込み又は当日現金払い)

## お申し込み方法

申込締切日:5月8日(月)

ファックス(03-5408-0058)またはe-mail(info@ueri.co.jp)で、

以下の項目をお知らせ下さい。

お申込みの際に、件名を「5月12日 JHIF第3回会議 参加希望」として、

- ・貴団体名(フリガナ)
  - ・部署・役職、参加者貴名(フリガナ)
  - ・電話、ファックス、電子メールアドレス
  - ・会員/非会員の別
  - ・非会員の場合のお支払い方法(当日現金/銀行振り込み)
- をご記入下さい。

## 案内チラシ

当会議の案内チラシ(申込書付き)はこちらからダウンロードできます。

[http://www.ueri.co.jp/jhif/Conference3\\_flier060512.pdf](http://www.ueri.co.jp/jhif/Conference3_flier060512.pdf)

## JHIF会員限定 原子力水素研究会・原子力高度利用研究会開催

原子力水素研究会・原子力高度利用研究会が下記の通り開催されます。当研究会はJHIFと相互乗り入れしておりますので、JHIF会員に限り3名様までご参加いただけます。

ご参加を希望される方は、4月10日(月)午前中までに、JHIF事務局(tajima@ueri.co.jp)までご連絡下さい。

日時:平成18年4月18日(火) 13:30 - 17:00

場所:電力中央研究所・本部 大手町ビル7階 第2会議室

〒100-8126 東京都千代田区大手町1-6-1 TEL: 03-3201-6601

東京メトロ(丸ノ内線、千代田線、半蔵門線、東西線、都営三田線)

「大手町」駅直結(地図を参照下さい)

(<http://criepi.denken.or.jp/jp/intro/access/ohte.html>)

## 議題

(時間は討論込み)

- (1) 「青森県の水素エネルギー創造戦略」(仮題)  
高坂 幹 氏(青森県 環境・エネルギー産業振興グループ)  
13:35 - 14:35
  
- (2) 「高速炉に適用可能な熱電併用水素製造技術  
- ハイブリッド熱化学法開発の現状 - 」(仮題)  
中桐 俊男 氏(原子力機構 大洗研究開発センター)  
14:40 - 15:40
  
- (3) 「電力中央研究所における水素技術への取組み」  
竹井 勝仁 氏(電力中央研究所・材料科学研究所)  
15:45 - 16:45

## JHIF通信について

ご愛読いただき、ありがとうございます  
本メールは次の方々にお送りしています。

学識者.....42名  
企業・団体関係.....501名  
政府関係.....30名  
議員関係.....20名  
自治体.....74名  
計.....667名(2006年4月3日現在)

JHIF通信は、JHIF事務局が情報発信するメール通信です。

このメールは、事務局スタッフが名刺交換させていただいた方々及びJHIFセミナー・会議等に参加された方にお送りしています。

会員企業の活動を支援するため、エネルギーに関連する会員主催のイベントも情報提供しております。本メールマガジンにて配信のご希望がございましたら、JHIF事務局までお問い合わせ下さい。(内容によっては応じられない場合があります)

過去のJHIF通信はこちらからご覧いただけます。

[http://www.ueri.co.jp/jhif/jhif\\_mailmagazine.html](http://www.ueri.co.jp/jhif/jhif_mailmagazine.html)

## お問い合わせ窓口

配信中止、配信アドレスの変更、その他のお問い合わせは、  
info@ueri.co.jpまでご連絡下さい。  
ご所属、メールアドレスの変更がございましたら、ご連絡下さい。

日本水素エネルギー産業会議(JHIF)事務局

<http://www.ueri.co.jp/jhif/index.html>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックス4F

(株)ユニバーサルエネルギー研究所内

TEL:03-5408-1118(代) FAX:03-5408-0058